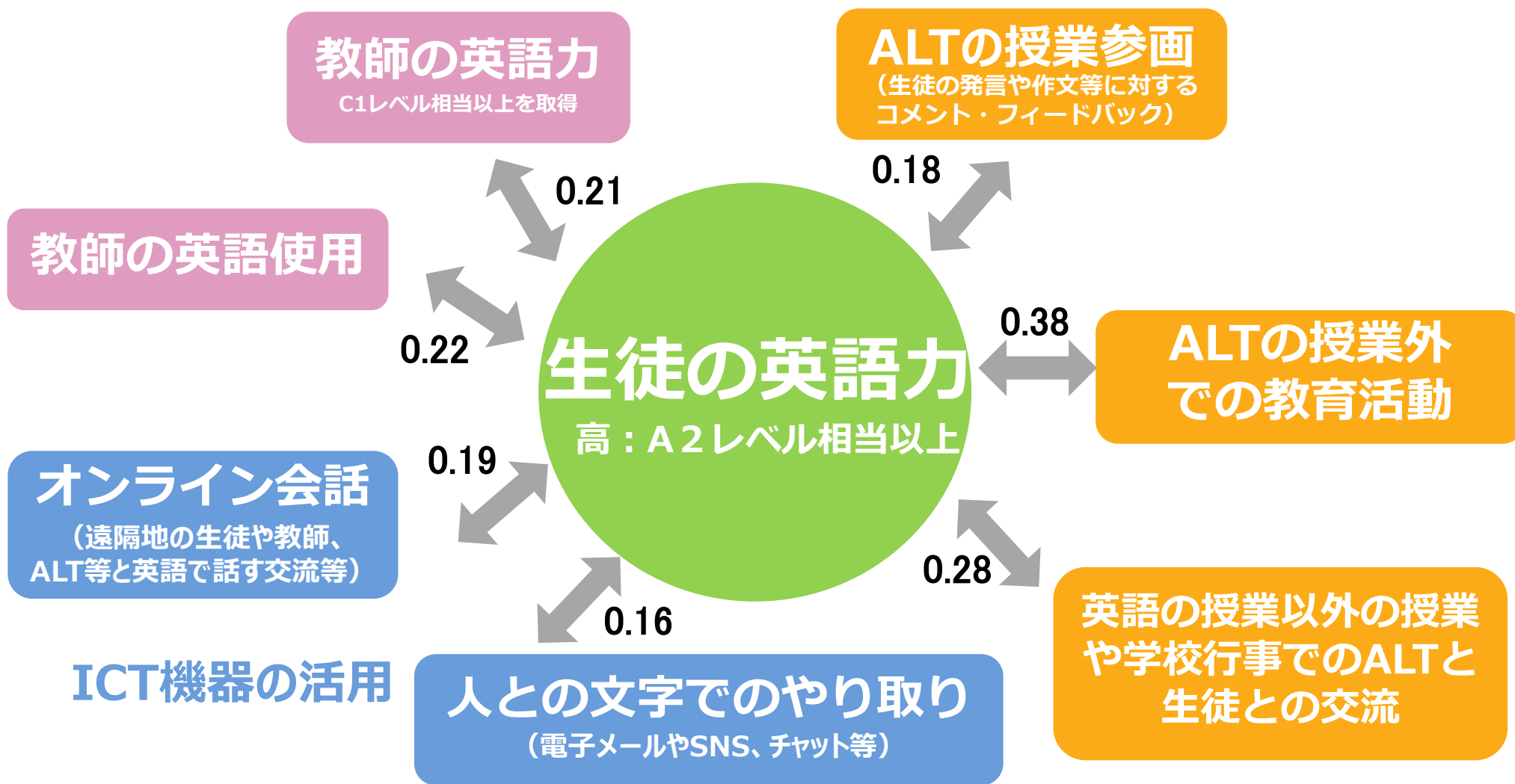


- 教師の英語力、教師の英語使用、ALTの授業内外の活動、ICT活用は、生徒の英語力と正の相関



※ 高等学校には特別支援学校高等部を含む。特別支援学校高等部については、外国語科について高等学校の目標及び内容に準ずる教育課程で学んでいる生徒、高等学校の目標及び内容に準ずる英語の授業を担当している教師、高等学校の目標及び内容に準ずる英語の授業のみを対象としている。

※ 数値は相関係数（学校単位。相関係数はすべて5%水準未満で有意（いずれも両側））。

※ ICT機器の活用については、AIを活用したものを除く。

※ 「人との文字でのやり取り（電子メールやSNS、チャット等）」は英語で入力している場合に限る。

※ 生徒の英語力については、CEFR A2レベル相当以上の割合を基に算出。

※ 教師の英語使用については、英語担当教師の英語による発話が50%以上の学校の割合を基に算出。特別支援学校高等部については、ここでの「発話」に、音声によるもののほか、教師が、生徒や自身の障害の状態等に応じて多様な方法を用いながら英語を表出し、授業を行っている場合も含む。

※ 教師の英語力については、CEFR C1レベル相当以上の割合を基に算出。